



入道沢 (作図) 〇

て繩を利用して懸垂下降。登山道に出た所で昼食。

大滝沢に出るまでは何もナシ。潜滝の上にもう一段の滝があるのを確認。そのまま下れないので、左岸の岩を

まいて登山道へ出る。

(記・坪)

〔タイム〕

下降開始一〇:三〇—七ト滝一:一〇—登山道一

一:五〇—大滝沢合流点一:二:〇五

## 入道沢 (下降)

一九七八年九月三日

◆天気 (曇)

一時五五分下降開始。クマザサの中を五分下ると割合と大きな沼に出た。こんな所にと意外の感じ。まわりをう回して再び下り出したら、今度は前よりは少し小さ

い沼。いずれもミズバシヨウ他湿地の植物が生えている。

一二時二〇分ようやくはつきりした沢筋に出たが平凡。

二〇分程下ると二俣になる。左俣は水量こそ少ないが一

五俣の滝が見える。なおも下降を続けるがまったく平凡。

一三時二〇分登山道に出て下降終了。あとは列車の時間

を気にしながら飛ぶように下って峠駅へ。

(記・坪)

〔タイム〕

下降開始一:一:五五—二俣一:二:四〇—下降終了一

三:二〇—滑川一四:〇五

## ホラ貝沢

一九七七年七月三日

◆天気 (晴)

大滝のすぐ上でワラジをつけ遡行を開始する。大滝沢の特徴であるナメ滝が連続し、ホラ貝沢出合までも結構楽しい。ホラ貝沢の出合は小さな滝と、赤っぽい鉄分を含んだ水が流れているのですぐわかる。

ホラ貝沢に入るとすぐ小さなナメ。落ちてきた石がゴ